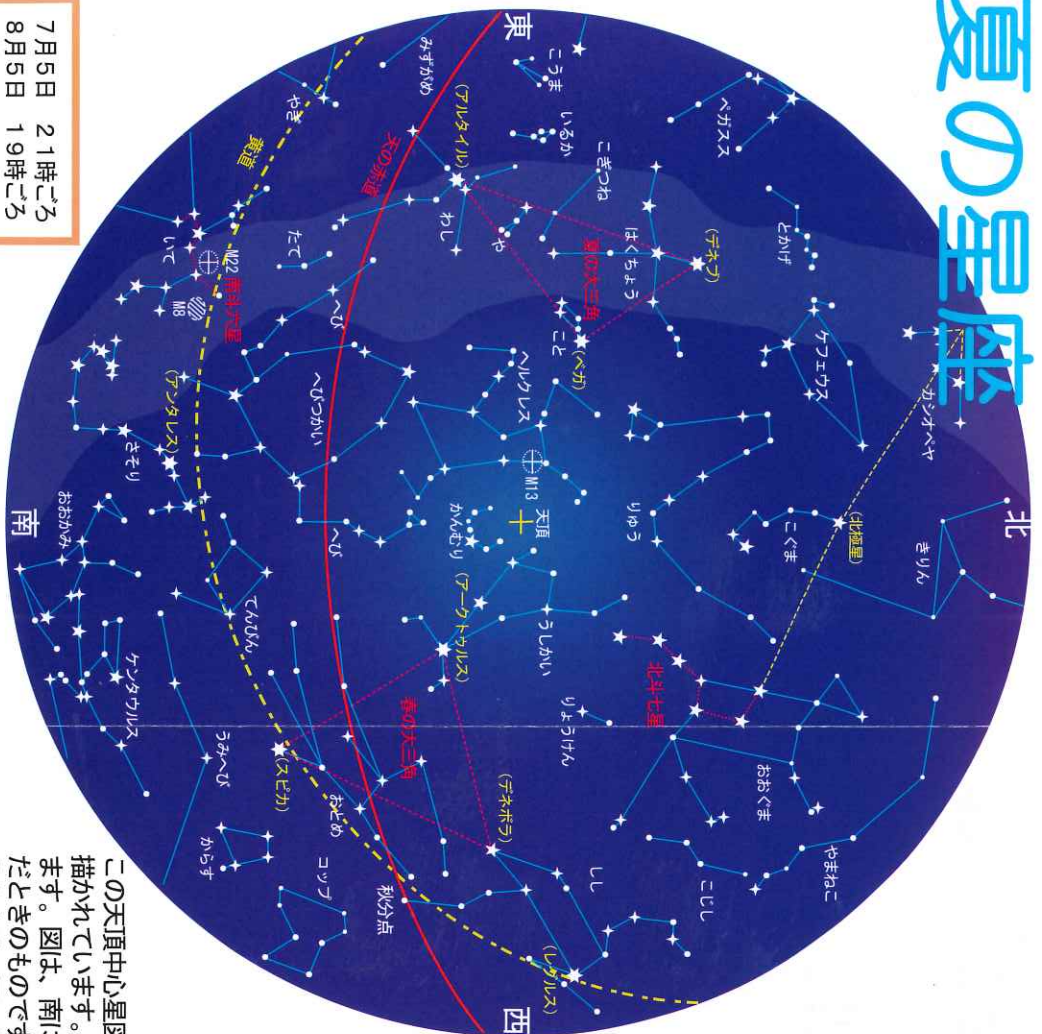


夏の星座



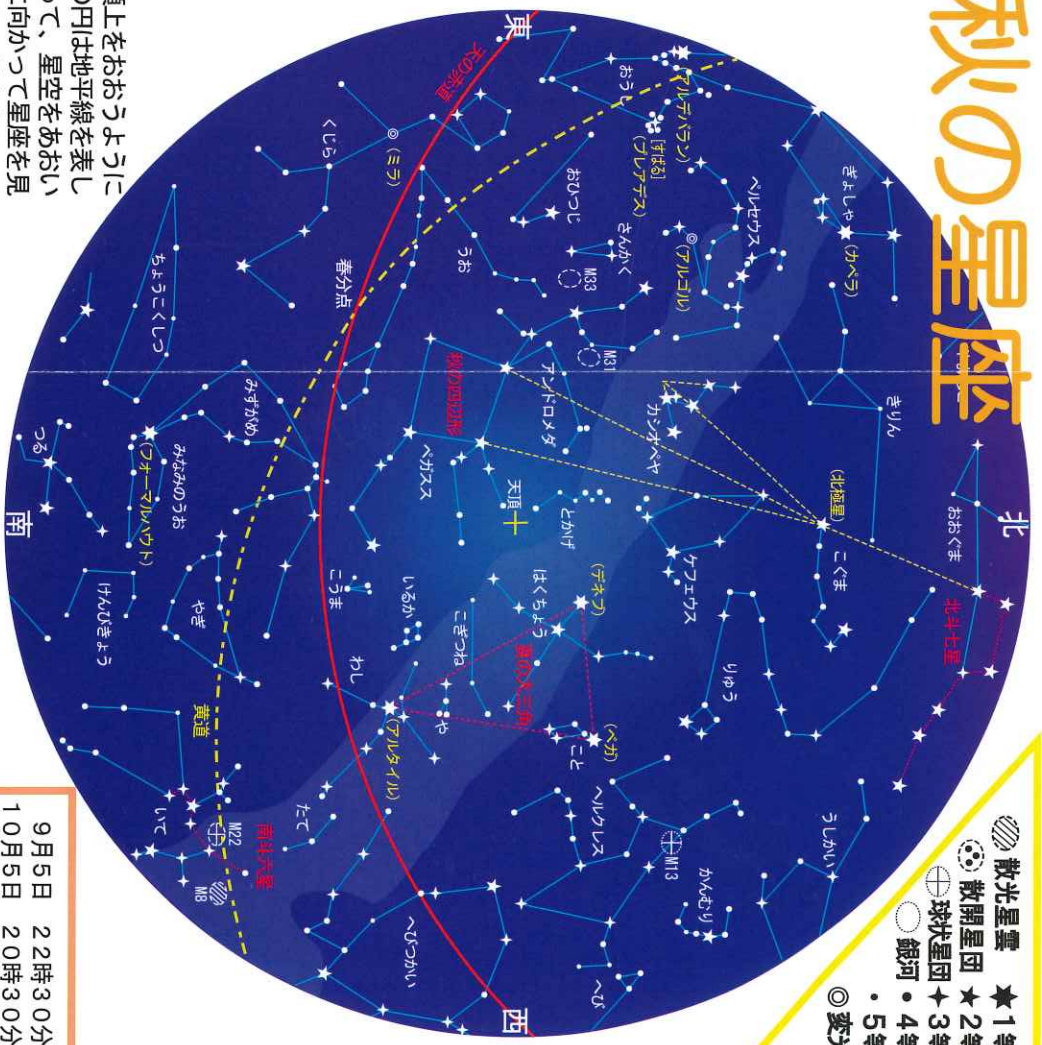
7月5日 21時ごろ
8月5日 19時ごろ

恒星の色のひみつ

夏の夜空に輝く代表星座の一つ「さそり座」。真っ赤な1等星「アンタレス」を持ちます。この名前も、惑星「火星」も赤色に輝くことから「火星と戦う：アンタレス」に由来します。和名では「隠微い星」ともいいます。そのまわりを2〜3等星たちが、雄大なSの字に連なっているのが目印となります。

さて夏の夜、アンタレスの他にも、西斜た色の違う星があることに気がつくますか？ 春の星座うしかい座のアンタレスと同じ色をしています。多くは白っぽく見えるかわりませんが、その星はさそりとアンタレスと同じ色をしています。（星図を参照してください） 恒星は、青色ほど表面温度が高い星、赤色ほどお年寄りで表面温度が低い星と決ります。赤色の星の中には、輝きが不安定になって膨張するものもあり、アンタレスに至っては、大アンタレス星であるため、太陽の約680倍に膨張しているといわれています。

秋の星座



9月5日 22時30分ごろ
10月5日 20時30分ごろ

中秋の名月

旧暦8月15日の月を「中秋の名月」と呼びます。旧暦は、月の満ち欠けを基に決められており、15日はいつも満月でした。また、当時は7月から9月が秋にあたっただため、その真ん中の8月15日を「中秋」といい、秋の澄んだ空に輝く満月を、愛でる習わしが、今でも伝わっているのです。

ところが、現代のカレンダーは旧暦とずれているために、中秋が満月とは限らなくなりました。昨年はちょうど満月にあたりましたが、なんと8年ぶりでした。今年の中秋は9月10日。2年連続の満月です。昔の人が見ていた空を愛でることができそうです。

11月8日には全国で皆既月食が見られます。旧暦で生活をしてきた頃の人々は、不吉の予兆と恐れられたそうですが、さて、私たちは…？ 驚れることを祈って楽しみに待ちましょう！



- 散光星雲
- 散開星団
- 球状星団
- 銀河
- 変光星
- ★ 1等星
- ★ 2等星
- ★ 3等星
- ★ 4等星
- ★ 5等星